

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 25 日作成

事務事業名	市議会運営事務経費			□ 実施計画事業	所属部局	議会	単位番号	9005	
	所属課室	議会事務局	課長名			有野一成			
	所属担当		担当者名			村松直樹			
基本政策	99 施策に結びつかないもの	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
			01	一般	01	01	01	030	05
			事業区分	□ 国の制度による義務的事業	□ 施設等維持管理事業				
政策	99 施策に結びつかないもの	事業区分	□ 県の制度による義務的事業	□ 補助金交付事業					
			□ 市の制度による義務的事業	□ その他の事業					
			□ 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) □ 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠	地方自治法第102条、南アルプス市議会会議規則						
			事業の内容	事業の内容は次年度以降3年間の計画内容も記載 ※【本会議】一週間前に市長が召集（初日）開会・諸報告・会議録署名議員の指名・会期決定・議案の上程・提案・説明・一部採決。（中日）委員長報告、一部質疑・討論・採決。（最終日）委員長報告、質疑・討論・採決、閉会。 ※【常任委員会】4常任委員会（総務・文教・厚生・産業土木）が条例で規定されている。各委員会がそれぞれ所管する部局の説明を聞き、質疑・討論、採決を行い、委員会としての意思決定をする。そのほかに4つの分野の内容について、必要な調査を行う。					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	定例会4回、臨時会1回
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民、議員、市長ほか本会議出席職員。及び委員会出席者。	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
本会議及び委員会の議事運営が円滑にかつ遺漏なく実施できるようにする。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
議会に対する関心が高まり、議会がより活性化することにより、市民のための円滑な議会運営を図る。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 会期延べ日数	日
イ 本会議・委員会開催日	日
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 人口	人
イ 議員数	人
ウ 出席人数	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 口述書で想定しない案件	件
イ 突然の休憩時間	分
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 労働者人数	人
イ 議員提案の件数	件

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年 間	財 源	国庫支出金	千円						
ト ル	内 訳	県支出金	千円						
コ ス	費	地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	5,485	6,393				
		事業費計 (A)	千円	5,485	6,393	0	0	0	0
人	正規職員従事人數	人		4					
件	延べ業務時間	時間		2,720					
費	人件費計 (B)	千円		10,777	0	0	0	0	0
	(A)+(B)	千円		16,262	6,393	0	0	0	0
活動指標		ア 日	72.0	80.0					
		イ 日	59.0	60.0					
		ウ							
対象指標		ア 人	73,000.0						
		イ 人	24.0						
		ウ 人	480.0						
成果指標		ア 件							
		イ 分							
		ウ							
上位成果指標		ア 人	238.0	300.0					
		イ 件							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	日本国憲法、地方自治法、南アルプス市議会条例、南アルプス市議会会議規則等による。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	常任委員会の所管する事務の多様化が見られ、審査時間も増加傾向にある。地方自治法の改正により、議員の複数の常任委員会に所属することが認められることになったことや体面方式・一問一答に伴う対応が迫られる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	代表・一般質問が市民に解りやすく、一問一答方式や対面方式など議会運営委員会が中心になり協議検討をしている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	一問一答方式・対面方式等
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	一問一答方式、対面方式、タイマーの設置等

事務事業名	市議会運営事務経費	所属部	議会	所属課	議会事務局
-------	-----------	-----	----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意圖が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 本会議において、事前に協議された事項に基づく議会運営は円滑に行われている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 日本国憲法、地方自治法、南アルプス市議会会議規則による運営事務で、妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図・成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 日本国憲法、地方自治法、南アルプス市議会会議規則による運営事務で、妥当である。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 想定していない議会運営の流れになった場合に議長ほか事務局等の対応を早めることなど、向上する余地がある。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 左に同じ 地方自治法102条による。
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 支出している予算は必要最小限で削減する余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限で事務処理している。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民・議員とも公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性では想定しない議会運営の流れになった場合、素早く的確に対応する余地がある。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																				
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																				
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																				
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																				
(2) 改革改善案について	(3) 改革・改善による方向性																				
①想定外の議会運営に対応できるような議長口述書を検討し、準備する。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果 水 準</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	成 果 水 準	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成 果 水 準	コスト水準																				
	削減		維持	増加																	
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
成 果 水 準	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
②																					
③																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																				
①	成果優先度評価結果																				
②	対象外																				
③	対象外																				
	コスト削減優先度評価結果																				